



by HARMAN

# QUANTUM ONE

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

**禁止** (してはいけないこと) を示す記号です。

#### 警告

- ⊘ 交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない  
周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。
- ⊘ 歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では  
使用しない  
交通事故の原因となります。

#### 注意

- ⊘ 薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。  
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

### 同梱品

お使いになる前に、本体および以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ヘッドホン本体



- 3.5mm オーディオケーブル



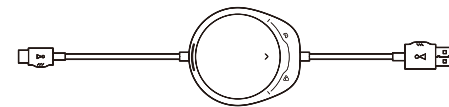
- キャリブレーション用マイク



- 着脱可能ブームマイク



- ゲームチャットバランスダイヤル (USB Type-C ⇄ USB Type-A) 搭載 USB ケーブル

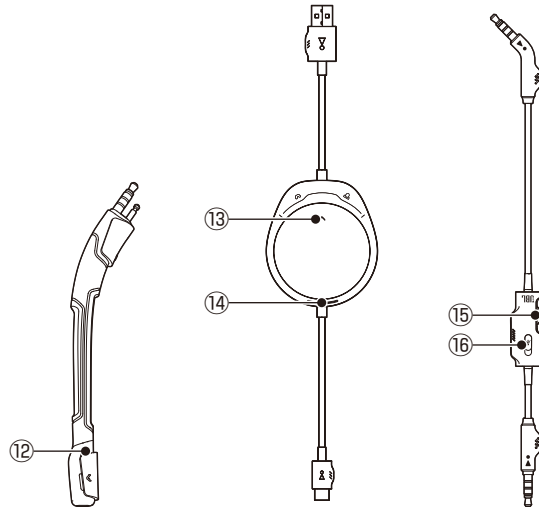
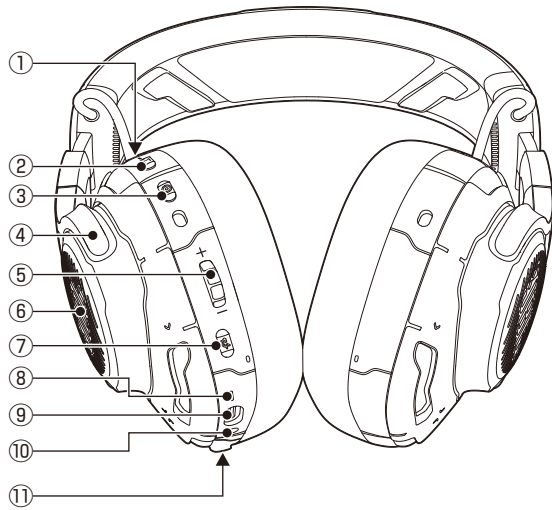


- ブームマイク用風防フォームカバー (出荷時本体に装着済み)



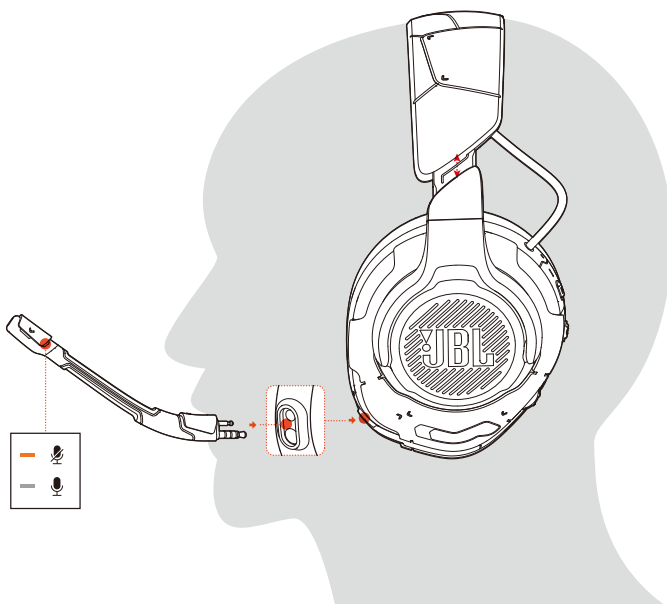
- クイックスタートガイド
- 保証書 (多言語)
- 注意事項
- 安全シート

## 各部の名称と働き



- ① ANC<sup>※1</sup> / トークスルー<sup>※2</sup> LED  
ANC 機能が有効になっている時に点灯します。
  - ② **ANC** (ANC/ トークスルー) ボタン  
短押しするとトークスルー機能がオンまたはオフになります。  
2 秒以上長押しすると ANC がオンまたはオフになります。
  - ③ **⊙** (リセンタリング) ボタン  
ヘッドトラッキング用リセンタリングボタン
  - ④ 肩掛けに便利なフラットに回転可能なイヤークップ
  - ⑤ 音量+ / -ダイヤル  
ヘッドセット本体の音量を調節します。
  - ⑥ RGB ライティングゾーン
  - ⑦ **🔇** (マイクミュート/ミュート解除) ボタン  
押してマイクをミュートまたはミュート解除します。  
5 秒以上長押しすると RGB ライティングがオンまたはオフになります。
  - ⑧ 電源ステータス LED  
USB 接続が有効になっているときに点灯します。
  - ⑨ USB Type-C ポート
  - ⑩ 3.5mm オーディオジャック
  - ⑪ ブーム/キャリブレーション用マイクジャック
  - ⑫ マイクのミュート/ミュート解除 LED  
マイクがミュート状態になっているときに点灯。
  - ⑬ **🔊/🔇**ダイヤル  
ゲーム音量に対するチャット音量の調節
  - ⑭ 電源ステータス LED  
USB 接続が有効になっているときに点灯します。
  - ⑮ 音量ダイヤル  
3.5mm オーディオ接続したヘッドセット本体の音量を調節します。
  - ⑯ **🔇**スライダー  
スライドさせると 3.5mm オーディオ接続したマイクをミュートまたはミュート解除します。
- ※ 1 ANC (アクティブノイズキャンセリング) : 外部の騒音を抑えることによりゲームに完全に没頭することができます。  
 ※ 2 トークスルー : トークスルーモードではヘッドセット本体を装着したまま自然な会話を続けることができます。

## ヘッドセット本体を装着する



- ① 着脱可能ブームマイクを取り付けます。
- ② 左耳に L の記号がある側を当てて、右耳には R の記号がある側を当てて装着します。
- ③ 快適に装着できるようにイヤークップとヘッドバンドを調節してください。
- ④ 必要な場合はマイク先端の位置を調節してください。

## 初期設定 (PC 用のみ)

<http://jp.jbl.com/QUANTUMONE.html> の「マニュアルダウンロード」画面から JBL QuantumENGINE をダウンロードすると JBL Quantum ヘッドセット本体の機能を全て利用することができます。

ヘッドセット本体の調節や聴覚に合わせた 3D オーディオの調節、カスタマイズされた RGB ライティング効果の作成やブームマイクのサイドトーン動作などを設定可能です。

### ソフトウェアの動作環境

ご使用に際しては JBL QuantumENGINE の「システムソフトウェア」メニューから各ファームウェアのアップデートを実行してください。

- ・ Windows 7/Windows 10 (64ビット) のみ
- ・ 500MB のハードディスクドライブ空き容量
- ※ QuantumSPHERE 360 および DTS Headphone:X V2.0 は Windows 以外では使用できません。
- ※ お使いの Windows OS により表示される設定画面や手順などが異なる場合があります。

- ① USB 接続を通してヘッドセット本体を PC に接続してください (「USB 接続を行う」をお読みください)。
- ② Windows の「サウンドの設定」->「サウンドコントロールパネル」にアクセスしてください。
- ③ 「再生」タブで表示される「JBL Quantum One Game」をハイライト表示し、「規定値に設定」を選んでください。
- ④ 同じく「再生」タブで表示される「JBL Quantum One Chat」を右クリックし、「既定の通信デバイスとして設定」を選択してください。
- ⑤ 「録音」タブで表示される「JBL Quantum One Chat」をハイライト表示し、「規定値に設定」を選択してください。
- ⑥ チャットアプリケーションでデフォルトのオーディオデバイスとして「JBL Quantum One Chat」を選択してください。
- ⑦ 画面の指示に従ってサウンド設定をカスタマイズしてください。
- ⑧ 「規定値に設定」をクリックして設定を完了してください。

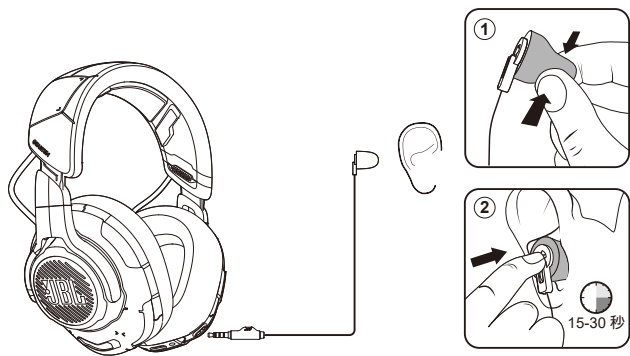
### 7.1 ch サラウンドの設定

Windows 上で 7.1 ch サラウンドの設定を行うことができます。

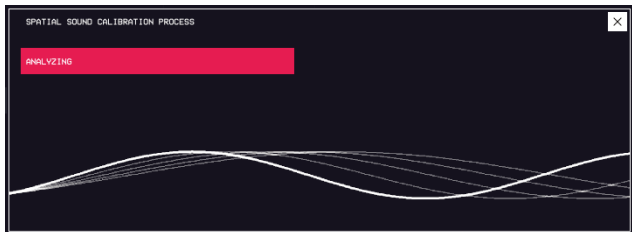
- ① 「コントロールパネル」の「サウンドコントロールパネル」から「サウンド」にアクセスしてください。
  - ② 「再生」タブの「スピーカー」を右クリックします。
  - ③ メニューの「スピーカーの設定」をクリックし、7.1 ch サラウンドの設定を行います。
- ※ 上記は Windows 10 の場合の操作手順です。Windows 7 の場合はメニューの名称が一部異なります。

## 個別のオーディオ調整

本キャリブレーションプロセスは 2020 年 6 月以降公開予定です。

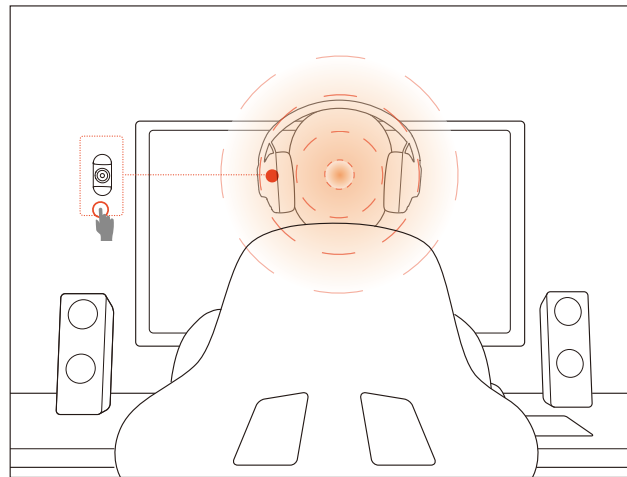


- ① USB 接続を通してヘッドセット本体を PC に接続してください（「USB 接続を行う」をお読みください）。
- ② JBL QuantumENGINE を起動し、メニューの「サラウンド」->「QuantumSPHERE 360」にアクセスしてください。
- ③ 記載されている通りブームマイクを取り外してキャリブレーション用マイクを装着してください。
- ④ キャリブレーション用マイクを左耳にセットし、「キャリブレーション開始」をクリックして適切な騒音レベルが検出されるまでお待ちください。



- ⑤ 画面上の指示に従って両耳のヘッドホンのオーディオ調整を完了してください。
- ⑥ キャリブレーション用マイクを取り外してブームマイクを再び装着してください。

## リセンタリング

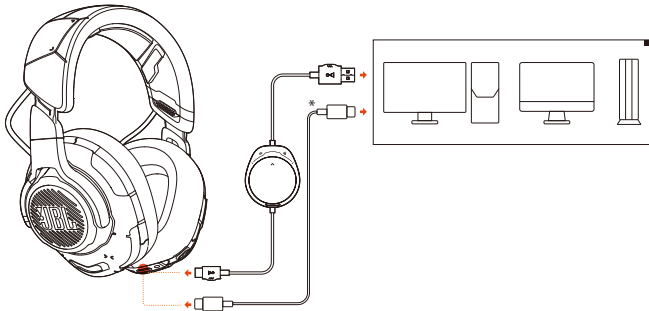


最適なサウンドポジションにするため、使用する度にリセンタリングを行うことが可能です。

- ① JBL QuantumENGINE トップ画面上部の「ヘッドトラッカー」のスライダーを右にして ON にしてください。
- ② ヘッドセットを装着してモニターの正面に座ってください。
- ③ ヘッドセット本体の◎を押すとヘッドトラッキングセンサーが自動調整を開始します。
- ④ JBL QuantumENGINE トップ画面上部右上の「リセター」マークをタッチしてリセンタリングを行うことも可能です。

# ヘッドセット本体を使う

## ▶ USB 接続を行う



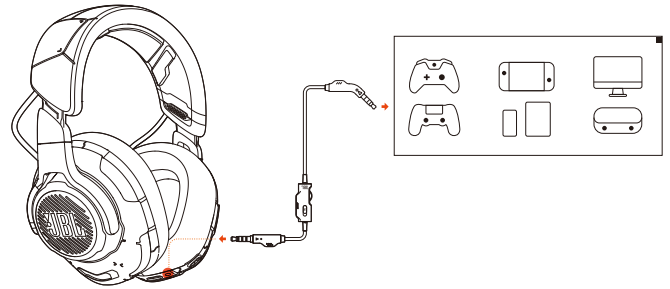
- ① PC、Mac または PS4 の USB Type-A ポートに USB ケーブルのオレンジ色のコネクタ (USB Type-A) を接続してください。
- ② ヘッドセット本体の USB Type-C ポートに黒色のコネクタ (USB Type-C) を接続してください。

### 基本的な操作

コントロール	操作
音量ダイヤル	マスター音量を調節します。
🔇 ボタン (左イヤークップ)	押してマイクをミュートまたはミュート解除します。 5 秒以上長押しすると RGB ライティングがオンまたはオフになります。
🗨️ ボタン (左イヤークップ)	短押しするとトークスルー機能がオンまたはオフになります。 2 秒以上長押しすると ANC がオンまたはオフになります。
🎮 (オーディオチャットダイヤル)	ゲーム音量を上げるには 🎮 の方へ回転させてください。
🗨️ (オーディオチャットダイヤル)	チャット音量を上げるには 🗨️ の方へ回転させてください。

※ デバイスの設定に応じて USB Type-C ⇄ USB Type-C ケーブル (別売) を使用することもできます。全てのデバイスで USB Type-C による接続が保証されているものではありません。

## ▶ 3.5mm オーディオ接続を行う



- ① ヘッドセット本体に黒色のコネクタを接続してください。
- ② PC、Mac、スマートフォンなどモバイル端末またはゲーム機の 3.5mm ヘッドホンジャックにオレンジ色のコネクタを接続してください。

### 基本的な操作

コントロール	操作
3.5mm オーディオケーブルの音量ダイヤル	マスター音量を調節します。
🔇 3.5mm オーディオケーブルの-slider	スライドさせるとマイクをミュートまたはミュート解除します。

### ご注意

マイクのミュート / ミュート解除 LED、🔇 ボタン、🎮/🗨️ ダイヤル、RGB ライティングは 3.5mm オーディオ接続では機能しません。

## 主な仕様

ドライバーサイズ	50mm ダイナミックドライバー
周波数特性	20Hz ~ 40kHz
マイクの周波数特性	100Hz ~ 10kHz
最大入力	20mW
出力音圧レベル	95dB@1kHz、1mW
最大音圧レベル	97dB
マイクの出力音圧レベル	-41dBV@1kHz/Pa
インピーダンス	32 Ω
マイクのピックアップパターン	単一指向性
マイクのサイズ	6mmx2.7mm
重量	約 369g

※ 製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

## トラブルシューティング

製品に問題がある場合は以下の点をご確認ください。

症状	解決法
サウンドが聞こえない、またはサウンドの質が悪い	PC、Mac、またはゲーム機のゲームサウンド設定で、「既定のデバイス」として「JBL Quantum One Game」を選択していることをご確認ください。
	PC、Mac、またはゲーム機の音量を調節してください。
	ゲームをプレイまたはチャットオーディオのみを再生している場合は PC のゲームチャットの調整をチェックしてください。
	トークスルー機能が無効になっていることをチェックしてください。
	USB 接続の場合： • USB ケーブルが確実に接続されていることをご確認ください。 • 一部のゲーム機の USB ポートは JBL Quantum One に対応していないことがあります。これは故障ではありません。
3.5mm オーディオ接続の場合： 3.5mm オーディオケーブルが確実に接続されていることをご確認ください。	
自分の声が友達に聞こえない	PC、Mac、またはゲーム機のチャットサウンド設定で「既定のデバイス」として「JBL Quantum One Chat」を選択していることをご確認ください。
	マイクがミュート状態でないことをご確認ください。
話している時に自分の声が聞こえない	JBL QuantumENGINE でサイドトーンを有効にしてゲーム音声よりも自分の声が明瞭に聞こえるようにしてください。 サイドトーンが有効な場合 ANC/ トークスルーは無効になります。

## ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<https://jp.jbl.com/support-product.html>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2020 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.